

# 入善町立入善小学校

〈育てたい子供像〉  
なかよくする子  
進んで学ぶ子  
やりぬく子

# 学校だより



平成27年度 5月号 5月8日

## 柔らかな陽ざしが溢れ 風薫る 5月

学校長 宮崎新悟

5月に入りました。柔らかな陽ざしが溢れ、生命の息吹が感じられる季節です。

グラウンドにそびえる銀杏の木は毎日に緑色を深め、その存在感をますます強めています。入善小学校の子供たちが明るく元気に、そして、賢く育つよう、これからも見守ってほしいものだと思います。

さて、大型連休後半の5日間はとてもよい天候に恵まれました。連休明けの子供たちの明るい笑顔から、楽しかった連休の様子を感じ取られます。4月は肌寒い日も多く、体調が万全でないお子様も見受けられました。これから暖かい日も続きそうです。連休中に蓄えた楽しさをエネルギーにして、元気に学校生活を送ってほしいと思っています。保護者の皆様には、引き続き子供たちの健康管理にご配慮をお願いいたします。(今年度はまだ欠席者ゼロの日がありません。1年生の子供たちに、恒例のお祝いクラッカーを早く見せてあげたいと思っています)



1年生となかよし集会

## 交通安全教室を実施しました

4月28日(火)に交通安全教室を実施しました。当日は、入善警察署より1名の署員、黒東交通安全協会より6名の協会の方が来校されました。体育館での開会式の後、1・2年生は町に出て交差点の渡り方などの現地指導を、3・4年生は自転車の乗り方についての指導を受けました。子供たちは緊張した様子でしたが、真剣に取り組んでいました。

例年5月から7月にかけて特に1年生・2年生の交通事故による死傷者が増加する傾向にあるそうです。時間帯では午後の2時から午後の6時に多発しています。事故の原因は飛び出しが最も多く、事故全体の約6割を占めています。学校生活にも慣れ、友達との交流も増えて活動範囲が広がる時期です。また、暖かくなり自転車に乗ることも多くなります。ご家庭でも交通安全に対する意識を高めていただきますよう、お願いいたします。(本校では、昨日の夕方16:45分頃、低学年児童が飛び出しにより車と接触する事故がありました。幸いにも軽傷で済みました。本日、改めて子供たちに注意を促しました)



## 入善町小学校体育大会に向けて練習開始

5月19日(火)に入善町小学校体育大会が入善町中央公園陸上競技場で開催されます。4年生以上の子供たちが参加します。先週より、朝の時間や体育の学習で練習がスタートしました。練習に取り組む子供たちの様子は真剣で、「ハードルは跳ぶのではなく、またぐ感覚で!」と、先生方の指導にも熱が入っています。一人一人が今の記録を常に更新していけるよう、頑張らせたいと思っています。ご家庭でも、応援してあげてください。



## 家庭学習の充実を図りながら

## 子供たちの学力向上を目指して

4月18日(土)に開催しました学習参観並びにPTA総会、学級・学年懇談会への多数のご参加、ありがとうございました。総会の折に配布し、説明させていただきました「入善小ガイド2015」にも本年度の学校運営について記載しておりますが、教職員、保護者が方向を同じにして、大きな可能性をもった子供たちをよりよく育てていきたいと、決意を新たにしております。

さて、今年度も重点課題の一つに掲げております「確かな学力を身に付けていく子供の育成」につきまして、これまで取り組んできたことや課題についてお知らせをさせていただいておりますが、今、学校での取組に加えて家庭学習の充実が求められています。県教育委員会作成のリーフレットにも示されているように、富山県の子供は全国の子供と比べて家庭での学習時間が少なく、テレビを見たりゲームをしたりする時間が多いという結果が出ています。時間さえかければ良いというものではありませんが、まずは机に向かって学習をするという習慣が必要です。

2月の自己評価では、家庭学習を“学年×10分+10分以上する”を達成できた子供は94.3%となりました。教師と保護者が思いを一つにして子供たちの意識を高めていくことが大切です。また、「勉強しなさい」と何度も言うよりも、勉強している姿を十分に誉めてあげることが大切です。「入善小ガイド2015」を参照され、家庭学習の充実を図っていただきますよう、重ねてお願いいたします。



## 学校での出来事、どのように聞いていますか

親にとって、学校での子供たちの生活の様子は気になるものです。ついつい「学校は楽しかった？」と聞いてしまいます。しかし、この聞き方はよくありません。「えっ?」「どう聞けばいいの?」そう思われる方も多いと思います。家庭で、子供たちに学校の様子を問いかけるときのヒントになるお話を紹介します。

子供へ「学校、楽しかった?」と質問するのはよくありません。具体性に欠け、子供にとって難しい質問になっています。それよりは、「今日は、誰と遊んだの?」の方が、数段分かりやすい質問になります。誰と、どんな遊びをしたかが分かれば、楽しかったらと想像がつかます。(～中略～)「勉強どうだった?」もよい質問ではありません。それよりは「国語で勉強したところを聞かせて」とか、「お母さんに算数の問題を出してちょうだい」の方が、もっと楽しい会話になるはずです。実は、これが最も大事なことなのですが…。親がどんな話題に関心を示すかで、子供は話題を選ぶようになります。楽しい話題を選ぶ親の子は、学校で起こった楽しい出来事をいっぱい記憶し、瞳を輝かせて話します。「楽しいことを記憶して話す」という行為は、その子に「プラス思考」という素晴らしい力を育てます。反対に、いじめがあったとか、先生に冷たく(厳しく)された話題の時だけいつもより真剣に聞くような親だと、子供は、自分の受けた被害の部分だけを話すようになります。親の愛が自分に注がれるのはどんな時かをしっかり学習しているのです。そして、多くの楽しいことがあったのにもかかわらず、親が関心を寄せる不幸の虚像の方を学校から持ち帰るので、この繰り返しは、決して子供の幸せにはつながりません。

\*野口晃男「子育てのヒント 校長室の窓から」

野口先生は盛岡市の4つの小学校長を10年間務め、その後、盛岡市の教育相談員や盛岡大学の非常勤講師を務めておられます。入善町学校教育研究会では8月に野口先生を講師としてお招きし、講演していただく予定にしております。

## 保護者の方々の約95%の登録が完了しました

## 教育・安全情報メールの利用登録、ありがとうございます

教育・安全情報メールへの利用登録、ありがとうございます。4月末現在、保護者の方々の約95%の登録が完了しました。ただ、フィルタリング機能等の関係で、学校からのメールが届かない方がたくさんおられます。学校では現在、個別に確認作業を進めています。メールが届かない方は、恐れ入りますが携帯電話のショップへ行き、ご相談いただきますようお願いいたします。